

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 7 年 3 月 25 日

事業所名 ひまわり教室

保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	20%			・もう少し広いとありがたい	・活動により、スペースを考えながら療育を行っています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切に なされているか	80%	20%			・2階への階段に車いす でもあがれるように設備 がついていて配慮されて いるなど思った	・個人棚、引き出しな ど子どもたちにわかり やすいように工夫して います
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動 に合わせた空間となっているか	100%					
適切な支 援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、児童発達支援計画*2 が作成されているか	100%					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガ イドラインの「児童発達支援の提供すべき 支援」「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が 適切に選択され、その上で、具体的な支援 内容が設定されているか	100%					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	100%					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫 されているか	100%				・「今日はこの遊びをし た」という中にも目的が あって凄いなと思う	・ムーブメント・モン テッソーリー教育によ るねらいを踏まえて子 どもたちに楽しい活動 を提供しています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	100%				・こども園の子どもたちとたく さん交流しているので本人 にもよい刺激になっていると 思う	・隣接されたこども園と のインクルーシブ教育 を実践しています
保護者へ の説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	80%	20%				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達 支援計画」を示しながら支援内容の説明が なされたか	100%				・個人懇談が担当者と書 記の2人について行ってい るのはとてもよい	・個人懇談会では担当 者が進行し記録者が 書記をします
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング*4等)が行われている か	60%	40%			・そういう意図を持って説 明や支援を受けた感覚 はあまりない	・ペアレントトレーニング を実施してはいませんが 懇談会で話をしたり連 絡帳で保護者の方と情 報交換しながら家族支援 につなげています
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	100%				・毎日帰るときにその日の 出来事を詳しく教えてくださ るので子どもがどんな様子 だったかわかり助かってい る ・子どもが話せないで連 絡帳は重要なツールだと感 じている	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか					・短時間でもよいからもつ と回数があるとうれしい	・今後検討していきます

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	80%	20%		・放デイ保護者とのおしゃべり会は有意義だった。こんな機会がもっと増えるとありがたい ・チラシによるオープン参加よりも通所しているところが開かれると参加しやすい	・コロナが第5類になったこともあり今後は以前のように保護者会の行事をすすめていますと考えています
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%			活動の様子をもっと写真で見られるとうれしい	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	80%	20%			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	80%	20%		・訓練は定期的に実施されている ・保護者がマニュアルを理解しているかと言われると理解していない ・緊急時の駐車場は、歩けない子の対応は、引き渡しリストにある方の本人確認方法など新たなミッションをやってみるとよい	・4月にアプリでマニュアルを配信しましたが、玄関にマニュアルを掲示してあることもお知らせしていきたいと思います ・訓練は実施していますが毎回お伝えしていないので便利やSNSで今後も発信していきたいと思います
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	20%		・訓練は定期的に実施されている	・業務継続計画(BCP)訓練を毎年7月、2月に実施しています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			・とても楽しみにしている先生のこと、友達のこと大好きである ・朝、「保育園で先生と遊ぶ人？」と声かけると、すぐに出発モードになる	
	23	事業所の支援に満足しているか	100%			・いつも子どもに寄り添ってくださるので子どもがいつも楽しそうに過ごしている ・運動会や発表会にも参加させてもらえてありがたい ・“療育”という目的にがんじがらめではなく大らかに“育ててもらっている”ことに感謝している	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7 年 3 月 25 日

事業所名 ひまわり教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	85%	15%	活動するホールと午睡の部屋を分けてスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	85%	15%	子どもと個別に対応できるように職員配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	子どもたちが自分で片付けが出来るよう写真を使ってわかりやすくしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	プレイルームの床が冷たかったので、今年度新たにタイルカーペットを全面に敷きました。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	71%	29%	半年に1回ひとり一人のモニタリングをし話し合いの場を作っています	業務改善の会議をしていますが、非常勤の職員にも周知徹底したいと思います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年、保護者向け自己評価アンケートを行い、保護者の意向を確認しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	自己評価の結果を全職員で共有し、話し合っています。また、結果はホームページで公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修に参加し、職員間での情報共有し保育療育に繋げています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	4月に保護者にアンケートを取り、ニーズを把握し個別支援計画を作成しています。半年に1回懇談を実施し、お子さんの様子について共通理解を図り、課題を分析したうえで個別支援計画に活かしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	「子育てファイルふくいっ子」「ムーブメント教育のアセスメント MEPA-R」「福井市発達記録」の評価を行いアセスメントしています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援ガイドラインに基づいて、5領域に基づく「本人支援」と「家族支援」「地域支援」「移行支援」の観点から具体的な支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	半年ごとに個別支援計画を見直しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	85%	15%	毎月の目標に合わせて活動内容を考えています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	年間計画に基づき季節の活動を取り入れながら活動内容を考えています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	隣接された玉ノ江こども園での集団活動やひまわり教室での小集団による療育を組み合わせています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日朝礼にて、その日の活動について話し合っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71%	29%	勤務時間が異なるため、翌日の朝礼で話し合っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	複写式の連絡帳や週案、専門的支援実施記録で記録しています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年ごとにモニタリングを行い、保護者と懇談の上、個別支援計画を立てています。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	85%	15%	特別支援教育センターや特別支援学校と連携し、子供の行動観察やアドバイスをもらっています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	併用している保育園と話し合う機会を設けて情報共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	就学に向けて特別支援教育センター、特別支援学校と連携し、実際に子どもの様子を見に来ていただいている。また、サマリーシートを使い、移行支援会議で情報共有できるようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	事業所連絡会に参加し、他事業所との情報共有を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	隣接された玉ノ江こども園に行き、集団活動に参加しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	28%	72%		今後は出来るだけ会議に参加したいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳を通してこどもの状況を伝えあっています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	ペアレントトレーニングは実施していませんが、懇談で話をしたり連絡帳で保護者の方と情報交換しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	重要事項説明書を見ながら説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	57%	43%		今後検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	85%	15%	職員には周知していますが保護者の方には訓練後の様子をお便りで伝えています。	マニュアルに関しては保護者の方に4月にアプリで発信しましたが、年に2回などもっと発信していきたいと思っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	85%	15%	朝礼で関わり方を再確認しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		